

## ベルマーク新聞 12月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)  
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

## 「知る」「分かる」ってこんなに楽しい

 理科実験教室、3校で開催

①クモの巣を探す ②液体窒素はマイナス約190度 ③空気の流れの実験 ④輪ゴムを使ってプラスチックコップを飛ばす実験 ⑤動画で宇宙は何でできているのかを学ぶ ⑥懐中電灯で照らして「見えるかな？」

へき地校支援事業として財団が主催する理科実験教室が3校で開かれました。

まずは9月4日、京都市中心部から電車やバスを乗り継いで約1時間半の場所にある**京都市立岩陰小中学校**(明田圭子校長、小学生児童3人)での授業です。

講師は関根幹夫先生。日本蜘蛛学会の会員で、長く学校で理科を教えてきました。

児童3人に、学校の先生方も含めてみんなで近くの「クモの巣」を探し、ラッカープレーや糊を使って巣の標本を作りました。生きたクモを採取して名前調べにも取り組みました。「このクモは飼育できますか?」と、クモの魅力に愛着がわき始めた児童もいました。

休憩後は教室に戻り、関根先生の「クモっていいやつなんだ」と題した話を聞

きました。先生が「クモは昆虫を食べるために毒を持っていますが、人間がクモの邪魔をしない限り、襲ってくる心配はありません。稲から害虫を守ってくれる、守り神でもあるんですよ」と語ると、児童たちは熱心に耳を傾けていました。

10月18日は福井県の**おおい町立名田庄小学校**(早川勇治校長、児童91人)。おおい町は面積の90%を山林が占め、若狭湾国定公園の海に面しています。

講師は、富山大学准教授の月僧秀弥さん。小柴昌俊科学教育賞・優秀賞など多くの賞を受賞してきた先生です。

先生は全校児童の前で、マイナス約190度の液体窒素の中にボールや風船を入れる実験や、大きな風船を使って風が流れた力の強さを知る「空気の流れの実験」

を披露しました。みんなで輪ゴムを使ってプラスチックコップを飛ばす体験もあり、あっという間に時間が過ぎました。

月僧先生は「どうしてコップが曲がって飛んで行くのかな? 一度、ゆっくり考えてみてください。いろいろな不思議なことを楽しんで考えることが大事ですよ」と授業をまとめました。

**浜松市立水窪小学校**(浮田佳昭校長、児童23人)は、愛知、長野との県境に近い静岡県北西部にあります。

11月14日に開かれた教室の講師は、「高エネルギー加速器研究機構(KEK)」の青木優美さん。素粒子物理学を学んだ理学博士です。

この日は、5、6年生14人が参加しました。まずは「人形紙芝居」の動画を

見て基礎知識を学びます。

加速器は電子や陽子などを加速して、衝突させる装置です。KEKは高いエネルギーを生み出す大規模な加速器をつくり、動かしています。衝突して飛び出した素粒子の性質から、宇宙の始まり、物質のかたちやしきみなどを研究しています。

宇宙から地球に絶えず高速で降り注いでいる原子核や素粒子を宇宙線と呼びます。そのままでは見えませんが、地上に届いた宇宙線を目で見るようにするのが「霧箱」。簡単な構造の霧箱を使った実験に取り組みました。

児童からは「知らないことをわかりやすく説明してくれてよかった」「本で読んだことがくわしくわかりました」とお礼の言葉がありました。

## 「何か手助けしたい」を行動に

 ジブラルタ生命が財団にマーク寄贈、能登への支援も

協賛会社のジブラルタ生命保険(ベルマーク番号15)が12月3日、社内で集めたベルマーク約62万点を財団に寄贈しました。アドバイザー(顧問)でベルマーク大使を務めている松本哲さんと、コーポレート・クオリティ推進チームの工藤生成さん、提携団体チームの本田里奈さんの3人が会社を代表して届けてくれました。

同社は協賛会社として、全ての保険商品に一律100点のベルマークを付けるだけでなく、全国各地にある約700の営業拠点がマークの収集にも取り組んでいます。

毎年寄贈していただくのですが、「今年の約62万点

は例年よりも少ない」と松本さん。というのは、訳がありました。今回の寄贈とは別に、能登半島地震の発生を受けて、金沢支社が9月、石川県内の被災地の学校10校にマーク約32万点を寄贈したからです。

うち約19万点は熊本支社から届けられたもので、2016年の熊本地震の経験から「何か手助けしたい」という思いがこもっています。全国の各支社からも金沢支社にマークが届きました。静岡支社には地元の商工会もマーク収集に協力してくれました。ベルマークの寄贈以外にも被災地にタオルやぞうきんを贈ったそうです。



左から本田さん、工藤さん、松本さん